

科学館協議会議事録

会議名	平成23年度 第2回科学館協議会
期 日	平成23年11月5日(土) 午後1時30分～3時00分
出席者	和泉眞喜子, 田野崎博, 寺前紀夫, 長瀬敏郎, 村上恵子, 八柳善隆の6委員 (欠席・・・大江和美, 大草芳江, 加藤和彦, 田中仁) 館長, 副館長, 係長, 主査, 主任指導主事, 指導主事3名, 主事
議事等	<p>1 開会</p> <p>2 科学館長挨拶</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>○寺前会長が議長となり, 議事録を公開することとし, 会議を進行した。</p> <p>○議長より, 議事録署名人に田野崎委員を指名した。</p> <p>4 議事事項</p> <p>(1) 仙台市科学館運営の基本理念(基本方針)について(経過報告) 玉川副館長から別紙資料に基づき説明した。</p> <p>(2) 仙台市科学館運営の基本理念(基本方針)について(答申) 寺前会長から館長へと別紙のとおり答申した。</p> <p>5 報告事項</p> <p>(1) 平成23年度科学館特別展について・・・ 菅原指導主事から別紙資料に基づき報告した。</p> <p>(質疑)</p> <p>議 長・・・写真を撮って家でもう一度見ながら楽しめるという点が良かったのではないかと。</p> <p>八柳委員・・・入館者数が多かった理由はどんなことが考えられるのか。</p> <p>数本主任 指導主事・・・企画も良かったということもあるが, 来館された方がブログなどに載せてくれたこともあり大盛況に終えることができた。</p> <p>田野崎委員・・・入館者は市内の人が多かったのか。</p> <p>菅原 指導主事・・・今年は, 普段あまり来館されない大学生や高校生が多かった。震災の影響もあり市内の人が多かった。</p>

村上委員・・・今回の特別展は人を動かすイベント名だったと思う。

(2) 第58回児童・生徒理科作品展について・・・

西城指導主事から別紙資料に基づき報告した。

(質疑)

八柳委員・・・中学校の出品数や作品のレベルが伸び悩んでいるが学校現場に問題がある。事前指導を行う先生方が、減ってきており子どもたちは何をどのようにして進めていけばいいかわからない状況である。理科研究会及び学校現場でも力を入れていきたい。

田野崎委員・・・自由研究教室の中学生の参加人数が多いのはなぜか。

西城

指導主事・・・学校からの課題で参加している中学生が今年は多かった。

田野崎委員・・・地学の標本出品数が増えているがどのような標本が多かったのか。

西城

指導主事・・・化石の標本が増えている。地元の川の石などの研究のほか身近なものを標本とした作品も増えてきている。

田野崎委員・・・そういった作品は中学生の作品なのか。

西城

指導主事・・・中学生ではなく、小学生の作品でとても優秀なレポートの作品が増えてきている。

田野崎委員・・・作品の質は高くなってきているということなのか。

西城

指導主事・・・小学校低学年のレベルが高くなってきている。

(3) 科学館学習の授業開発について「化学分野」・・・

菅野指導主事から別紙資料に基づき報告した。

(質疑)

議 長・・・電圧をかけないものも準備し比較できる実験だともっと良い実験学習になるのではないか。

菅野

指導主事・・・貴重なご意見ありがとうございます。今後検討し、良い実験学習にしていきたい。

	<p>議 長・・・対象は中学生なのか。</p> <p>菅野 指導主事・・・市内の中学2年生を対象とした実験学習である。</p> <p>議 長・・・水酸化ナトリウムを使用するようだが、手についたり目に入ったりしても問題ない濃度なのか。</p> <p>菅野 指導主事・・・安全な濃度ではあるが、今回の実験には必ず保護メガネや白衣などを着用させ安全には十分気をつけて実験していきたいと考えている。</p> <p>田野崎委員・・・なぜ硝酸カリウムを使用するのか。</p> <p>菅野 指導主事・・・硫酸ナトリウムなど色々なものを使用してみたが一番適していたからである。</p> <p>田野崎委員・・・濃度はなぜ2%なのか。</p> <p>菅野 指導主事・・・色々なパーセントで実験してみたが、濃度を変えても速さは変わらないからである。</p> <p>田野崎委員・・・電圧を変えても速さは変わらないのか。</p> <p>菅野 指導主事・・・電圧を変えても変わらなかった。</p> <p>(4) 天井耐震工事について・・・ 玉川副館長から説明した。</p> <p>6 閉 会</p>
--	---

平成 年 月 日

議事録署名人

科学館協議会 会長

印

科学館協議会 委員

印